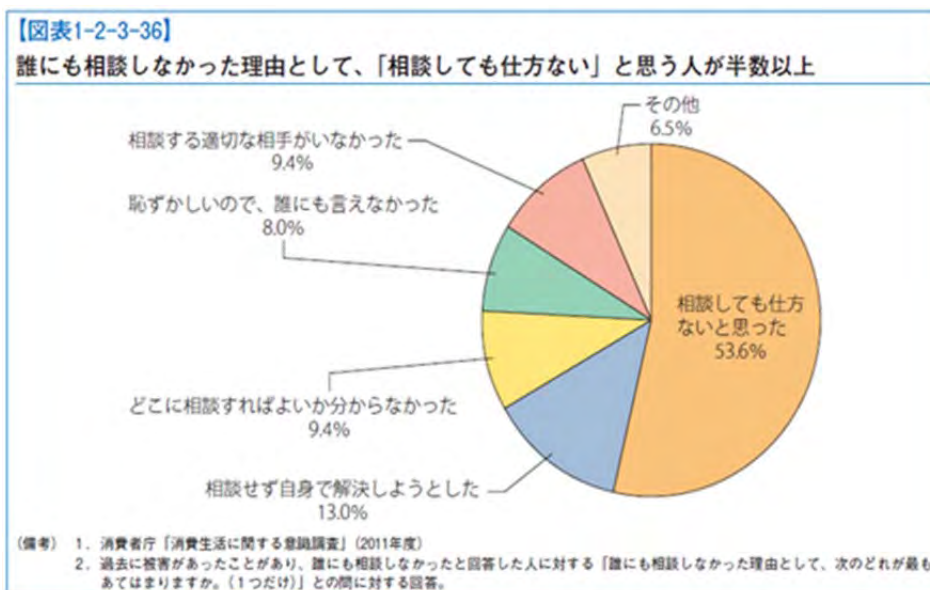
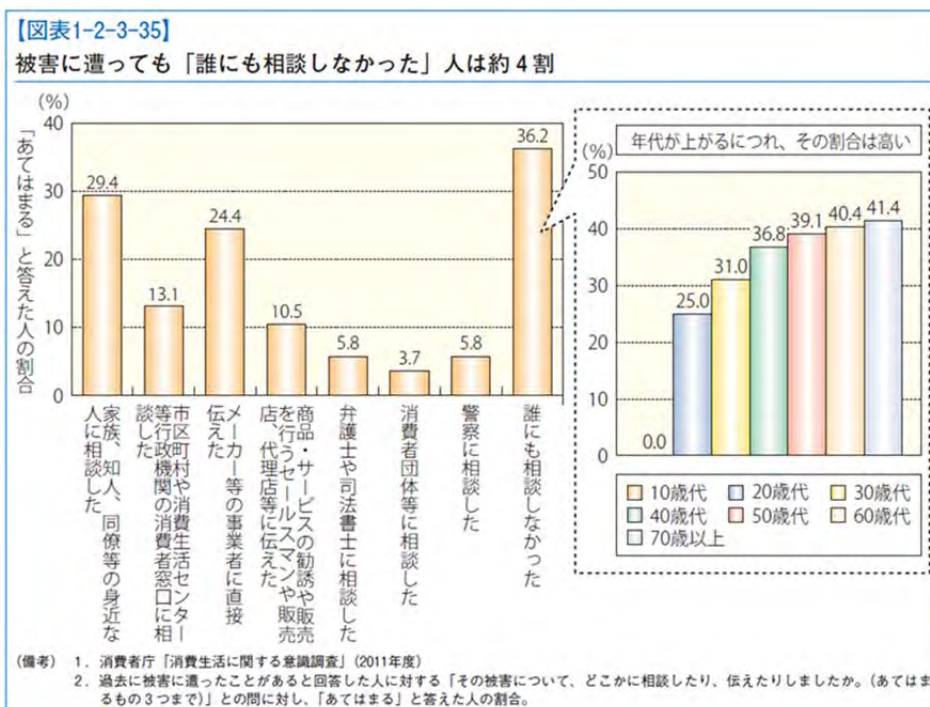


● 被害を誰にも相談しなかった人は約4割

実際に被害に遭った人に、その被害を誰かに相談したか聞いたところ、身近な人（家族、知人、同僚等）に相談したとする人が29.4%だった一方、そもそも誰にも相談しなかったという人が36.2%に上っています（**図表1-2-3-35**）。特に年代が上がるにつれ、その割合が高くなっています。誰にも相談しなかったと回答した人に、その理由を聞いてみると、相談しても仕方ないと思った人が半数以上の53.6%に上り、次いで、相談せずに自身で解決しようとした人が13.0%となっています（**図表1-2-3-36**）。また、どこに相談していいかわからなかったと答えた人も9.4%いました。



出典：消費者問題及び消費者政策に関する報告（2009～2011年度）消費者庁

http://www.caa.go.jp/adjustments/index_b.html

※調査対象：全国18歳以上の男女2,000人、調査期間：2012年3月、調査方法：インターネットアンケート調査